

式 辞

やわらかな日差しを浴び、校庭の木々も新芽が伸び、皆さんの門出を祝うように桜も開花の時期を迎えました。本日ここに、平成二十八年度篠崎第二小学校第五十回卒業式を開催するに当たり、江戸川区文化共育部文化課長 茶谷信一様をはじめ、多くの御来賓の方々並びに保護者の皆様にご臨席を頂き、誠にありがとうございます。高い所からでございますが心よりお礼申し上げます。

さて、八十三名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ただ今一人一人に渡ししました卒業証書には、六年間の頑張り、そして支えてくださったご家族と地域の方々、学校職員の温かい思いが込められています。皆さんは証書を手にして、小学校生活を振り返り、様々な思いがこみ上げてきていることでしょう。

六年前の春、真新しく大きいランドセルを背負って皆さんは入学しました。夏の暑い日や冬の寒い日、雨の日も風の日も元気に登校し、「光る子」を目指して勉強に運動に励んできました。特にこの一年間は、一年生のお世話をしてくれましたね。全校遠足などの様々な行事でも学校のリーダ

ーとして常に先頭に立ち、心を一つにしてみんなをまとめてくれましたね。運動会や体育大会、日光移動教室、音楽会と、様々な活動を通して、助け合い、相手の立場に立って考えること、心の痛みが分かり、皆で高め合うことの大切さを学びました。

そこで、私から皆さんに小学校最後のメッセージを贈ります。テーマは「夢」です。先日、私は「約束の場所」という曲を流しました。これは「世界に一つだけの花」を作った槇原敬之さんの作品です。曲の中に「日が暮れたのに気づかず夢中で頑張っただけになるようになった逆上がりもあの頃の僕の大事な夢だった」とあります。みなさんはどうですか？入学した頃、そんな夢があったのではないですか。ひらがなを全部書けるようになって

た一年生、九九マスターになることを夢に何度も何度も練習した二年生。今振り返ると簡単に思いかもしれませんが、あの頃は夢中で頑張ったのではないですか。そしてできた時の嬉しさは忘れていないでしょう。同じように、六年間一日も休ま

ず登校することも大事な夢のひとつではないでしょうか。毎日健康に気をつけて、どんなことがあっても登校する。それは簡単そうに見えて、なかなか難しいことです。今年度は九名の方がそれを達成しました。九人のみなさんにとって、これも気づいたらの卒業に向けての夢になったのではないですか？そして六年間という時間は、その夢を見守り、今ここに実現させてくれました。素晴らしいです。

確かに夢をもつことは、誰でも簡単にできま

す。でもそれを叶えることは簡単ではないです。野球をやったらプロ野球選手になれるわけではありません。科学者になって研究をしたからといってノーベル賞を取れるとは限りません。では途中で挫折して諦めますか。これからの長い人生の中で、ふとした拍子に思い出して「あのときやっぱり諦めなければよかった」と悔やむことがあるかもしれません。確かに実現できないこともあるのが現実です。全てが自分の思い通りになんかないかもしれません。でも、それは自分一人だけの夢だからではないでしょうか。私は、みんなで共有して、みんなが幸せになる、笑顔になれる夢なら実現は可能だと思います。夢を支えてくれる人、その夢で励まされる人、自分と同じ未来を描き受け継いでくれる誰かのための夢です。

広島東洋カープの黒田投手は、自分を待っていた人たちに忘えるために日本に戻り、広島の優勝という夢を実現しました。ノーベル物理学賞候補にもなった戸塚洋二博士は癌を患い余命数年と宣告されても夢の続きを後進に託すために若手

研究者が活躍できる環境づくりに励みました。そして愛弟子の梶田隆章博士は二〇一五年に戸塚博士の夢を実現させノーベル物理学賞を受賞しました。歌詞にはこうあります。「途中でもし死んでしまってもひたむきに夢と向き合えば、きっと同じ未来を描く誰かが受け継いでくれる」まさに戸塚博士の夢はその通りとなりました。夢は決してあなた一人のものではないのです。自分が実現できなくても誰かが受け継ぎ、支え、励まし合えば、必ず叶うはずです。その夢とはいったい何

のことでしょう。その答えは校歌の中にあります。「こころも清く清らかに日本の明日を担うもの」つまり未来の日本において途方もない数の人の笑顔と幸せをめざすことです。何年かかるかわかりません。しかし決して夢も時間もあなた方を裏切りません、無理かもしれないように思っても一番叶えたい夢を信じて羽ばたいてください。

保護者の皆様、本日は本当におめでとうございませす。お子様が立派に成長されたことを、心からお慶び申し上げます。そして六年間にわたり、本校の教育に、温かいご理解とご支援をお寄せいただき、ありがとうございます。また、卒業生八十三名の成長を見守ってくださいました地域の皆様、心から感謝しております。おかげさまで皆様方からいただきました学校評価の中で「学校間それを実現してきた諸先輩方の夢を引き継い

は子どもたちに地域行事等に参加できるよう協力している」と九十六％の評価をいただきました。教職員一同大変光栄に感じています。私の夢は地域と共にある学校をつくることです。五十年間それを実現してきた諸先輩方の夢を引き継いで、これからも本校児童を「地域の宝」として皆様方と歩んでまいりたいと思います。どうか末永く見守っていただけますようお願い申し上げます。卒業生の皆さん、名残は尽きませんが、最後に皆さんの健やかな成長と素晴らしい前途を祝し

て、式辞の言葉といたします。

平成二十九年三月二十三日

江戸川区立篠崎第二小学校

校長 篠原一